

1.計画名称

茅野市こども読書活動推進計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	コロナの影響により、お話し会、読書参観等の中止を余儀なくされた。ファーストブック等はプレゼンターを縮小して実施した。園や学校における読書活動の継続や調べ学習は概ね順調に進めることができた。コロナ状況に配慮しつつ、今後も茅野市教育の根幹である読書活動を総合的に推進していく。
今後の重点化施策番号	2	説明	こどもの読書活動推進にあたっては、家庭、保育園、学校、地域、図書館などの各場所の役割にあった活動と連携が重要となる。様々な場所で本と出会い、感動を覚え、読む楽しさを知り、喜びを体験できるよう、読書に親しむ場と機会の充実を図っていく。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	子どもの発達段階別施策の推進	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染状況に配慮しながら、ファースト及びセカンドブックプレゼント、朝の絵本の時間、朝読書の時間等発達段階に応じた読書活動を推進した。 ・第3次計画の前期3年間が終了したため、こども読書活動推進会議において中間検証を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が読み聞かせの大切さを学べる機会が減っている。 ・学童期においては、年齢に合った選書ができていない子とできていない子の差がある。 ・青年前期・中期においては、読書活動から遠ざかる傾向があることから、興味関心を広げることが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の質を高めるため、司書教諭や学校司書への研修機会の充実や学校図書館の運営支援を行う。 ・特に若い保育士の研修機会について、園長会等で問題提起する。 ・調べ学習コンクールを通して、探究的な学びの機会を提供する。(授業でも図書館を活用してもらう)
2	活動の場ごとの施策の推進	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・園での絵本の読み聞かせや小中高等学校における朝読書の時間は、コロナ禍においても継続実施できたが、ボランティアや各施設での読書推進活動は制限された。 ・第3次計画の前期3年間が終了したため、こども読書活動推進会議において中間検証を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の授業での利活用や家庭読書につながる取組をさらに強化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭や学校司書及び学校教職員の資質向上を図る研修や相談体制の充実を図る。 ・司書教諭・学校司書・担任・読書ボランティアなど多様な主体と連携し、活動の場ごとに、本に接するきっかけと機会の創出を図る。
3					
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	こども読書活動推進会議	保育園の絵本の時間や小中高校での朝読書など、コロナ下であっても工夫して継続できている。課題としては、特に若手保育士の読書に関する研修が必要。小中学校では学齢期に合った選書ができていない子がいる。調べ学習を通じた学校図書館の活用と学習指導の継続的発展が必要。	園長会や校長会に説明に出向き、課題共有を図ります。その上で、こども読書活動応援センターの相談体制のPRを図るとともに学校図書館の支援を強化し、家庭読書の習慣付けへとつなげます。
開催回数	1		
参加延べ人数	22		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5.添付資料

別紙「施策評価シート」